

# J R 四国労組ニュース

平成31年2月20日(No14/1)

発行責任者/中濱 斉

編集責任者/森安 祐貴

## 「効率化施策等」経営協議会開催！

本部は、本日開催された経営協議会において「平成30年度効率化施策等」について説明を受けた。

冒頭、会社側より「今年度は『中期経営計画』の2年目となるが、平成32年度における『自立経営の確立』という目標の達成に向けて、厳しい経営環境に柔軟に対応しつつ、各種経営課題の解決に取り組んできた。このため、徹底した業務の効率化を図るとともに、人的・物的能力を最大限に発揮させることにより、継続的かつ安定的な収益が確保できる経営体制の構築をするため、関係各部とともに効率化施策の実施に向けて鋭意取り組んできたところである」との考え方が示された。

その後、各主管部における「効率化施策」、並びに「取扱収入実績及び純収入実績の最近の動向」について説明があり、これらについて議論した。

### 【平成30年度効率化施策等について】

#### 1 営業部関連

- ・3月のダイヤ改正に伴い、一部駅において勤務種別や営業時間の変更を行うとともに、一部ワープ支店において営業時間の変更を行う。(別紙-1 参照)
- ・一部ワーププラザの廃止、契約社員化駅の曜日休日化等を行う。(別紙-2 参照)

#### 2 運輸部関連

- ・牟岐線徳島～阿南間の増発(パターン化)を進める。
- ・予讃線高松～琴平間の信用降車型ワンマン列車の本数を18本から32本に拡大する。
- ・予土線「しまんトロッコ」の定期列車への併結化を行う。
- ・「サンライズ瀬戸」の琴平への延長運転に伴う運用変更の一部を曜日運用に組み込む。
- ・高松指令所棟5階に女性用乗泊所を新設する。
- ・最終ワンマン列車への女性乗務員の乗務制限を撤廃する。

#### 3 工務部関連

- ・検査業務システムの導入に取り組む。

### 【取扱収入実績及び純収入実績の最近の動向について】

別紙-3 参照

# J R 四国労組ニュース

平成31年2月20日(No14/2終)

発行責任者/中濱 斉

編集責任者/森安 祐貴

## <説明に対する主な質疑(要旨)>

### 【営業部関連】

- 組 合：駅の営業時間短縮及び曜日休日化、並びにワーププラザの廃止について、組合は効率化の必要性は認識しつつ、組合員の雇用の確保を第一義に考えている。この点についてどのように考えているのか。
- 会 社：会社としても雇用の確保ができるように考えていきたい。
- 組 合：該当者には今回の内容及びスケジュールを丁寧に説明するとともに、本人の希望に配慮されたい。
- 会 社：該当者には4月以降面談を実施するとともに、本人の希望にはできる限り配慮したい。
- 組 合：ワーププラザの廃止に関して、旅行業の今後の展望をどう考えているのか。
- 会 社：旅行業については、店舗での販売が減収傾向にあるため厳しい状況が続くと思われるが、残すべき店舗を絞り込み運営していきたい。
- 組 合：駅の営業時間短縮及び曜日休日化、並びに無人駅の券売機撤去に伴い、乗務員の集札時間が長くなることが考えられるが、どのように対処するのか。
- 会 社：集札による列車の遅延はやむを得ないと考えており、その旨を乗務員に周知することとする。

### 【運輸部関連】

- 組 合：最終ワンマン列車への女性乗務員の乗務制限についてなぜ撤廃したのか。
- 会 社：これまで夜間の列車に女性が乗務し問題がなかったこととあわせて、防犯ブザーを貸与するなど防犯対策を図っている。なお、移行直後は指導担当が添乗しフォローを行うこととする。
- 組 合：サンライズ瀬戸の琴平への延長運転に伴い、一部列車の気動車への置き換えが発生しているが、今後も継続するのか。
- 会 社：1列車あたりのご利用状況が好調なこととあわせて、東京から四国への誘客に寄与することから継続することとした。

### 【工務部関連】

- 組 合：工務職場において検査業務システムを導入するとあるが、どのようなシステムか。
- 会 社：現場での検査をシステム化して管理することで、効率化を図るシステムである。

その他、業務中に発生した労働災害(自動車事故)の再発防止、及び運転職場における車掌兼務について抜本的な対策を求めた。

また、今回の提案については意見集約のうえ具体説明を申し入れることとした。

以 上

ダイヤ改正に伴う駅・ワープの効率化等について

平成31年2月

J R 四 国

以下のとおり、ダイヤ改正に伴う駅及びワープの効率化等を行います。

1 駅業務体制の見直し

(1) 勤務種別の見直し

①伊予三島駅

ア) 社員の貨物Aの勤務種別を変形5bから日勤2種に見直します。

イ) 契約社員の出改札Dの勤務種別を変形6aから変形5aに見直します。

その他、一部駅において営業時間の若干の変更はありますが、要員等については見直しはありません。

2 旅行業業務体制の見直し

一部支店において営業時間の若干の変更はありますが、要員等については見直しはありません。

3 実施時期

平成31年3月16日

## 現改比較表

## 1 勤務種別の見直し

駅名	現行				改正				労働時間 増減	要員 増減	
	担務	勤務 種別	労働 時間	始終業 時刻	担務	勤務 種別	労働 時間	始終業 時刻			
伊予三島駅	社員	変形	8:30	10:00	社員	日勤	7:35	11:00	△0:55	—	
	貨物A	5b		19:30	貨物A	2種		19:35			
	契約社員 出改札D	変形 6a	9:00	9:30	契約社員 出改札D	変形 5a	8:00	10:35 19:35	△1:00	—	
									社員計	△0:55	—
									契約社員計	△1:00	—

## 2 窓口及びカウンター営業時間の見直し

駅名	現行				改正				労働時間 増減	要員 増減
	担務	勤務 種別	労働 時間	窓口営業 時間	担務	勤務 種別	労働 時間	窓口営業 時間		
川之江駅	窓口営業			6:50 19:10	窓口営業			7:00 19:10	—	—
今治駅	窓口営業			4:25 22:00	窓口営業			5:15 22:00	—	—
伊野駅	窓口営業			7:10 17:30	窓口営業			7:20 17:40	—	—
ワープ 徳島支店	カウンター 営業			10:00 18:00	カウンター 営業			10:00 17:00 (※土休日のみ)	—	—

## 2019年度に実施する駅の効率化施策について

平成 31 年 2 月  
J R 四 国

今後、駅の要員需給は更なる逼迫が予想され、現行の駅（ワーププラザを含む）営業体制を将来にわたって維持することは困難です。一方で、世間では技術の進歩や時代背景の変化もあり、機械化やインターネット化による人を介さない販売方式が浸透しつつあります。そこで、持続可能な駅の営業体制の構築に向け、次世代型自動券売機の導入によるサービス水準を維持した出札業務の効率化や一部駅のワーププラザ廃止、契約社員化駅の曜日休日化等の各種効率化について今後数年間で進めていきたいと考えております。

については、2019年度の実施内容を以下のとおりとし、順次効率化を進めてまいります。

## 1. 営業時間の短縮及び土曜・日曜・祝日の休日化（10駅）

取扱収入が下位にあり、マルス非設置の契約社員化駅 10 駅について、おおむね 1 時間ほど出札時間を短縮し、かつ曜日休日化とする。

対象駅	出改札時間	実施時期
高瀬、伊予市、板野、勝瑞、南小松島、 羽ノ浦、石井、旭、伊野、佐川	7:00 前後～16:00 前後 (中間に休憩 1 時間) ※土・日曜日、祝日を除く	2019 年 10 月 1 日

## 2. 出札窓口の削減（既設の指定席券売機の利用促進）（1駅）

松山駅（マルス 3 台設置）について、契約社員の出面を 1 名効率化する。

対象駅	出札時間	実施時期
松山	出札時間は従来通り	2019 年 10 月 1 日

## 3. 一部ワーププラザの廃止等（8駅）

ワーププラザ 16 店舗のうち、特に収益額の低い 7 店舗を廃止する。

対象駅	実施時期
今治、八幡浜、阿南、鴨島、阿波池田、後免、須崎	2019 年 10 月 1 日 ※店舗営業は 9 月 20 日まで

また、今回廃止しないプラザのうち、新居浜駅ワーププラザは他の同程度の収益規模の店舗と比して要員が多く赤字幅が大きいため、要員 1 名を効率化し基本出面 2 名とする。

対象駅	実施時期
新居浜	2019 年 10 月 1 日

#### 4. 日勤駅長の廃止及び契約社員駅化（1 駅）

ワークプラザを廃止する鴨島駅については、駅長を廃止し契約社員駅とする。

対象駅	実施時期
鴨島	2019 年 10 月 1 日

#### 【参考】無人駅券売機の撤去について（17 駅）

駅管理業務の効率化を目的とした券売機の撤去については、原則乗車人員 50 人/日以下（定期除く）の無人駅や管理駅から長距離にある無人駅等を対象として以下のとおり進めていく。

対象駅	実施時期
伊予土居、大西、菊間、伊予長浜、伊予吉田、桑野、新野、由岐、日和佐、貞光、阿波加茂、豊永、西佐川、斗賀野、多ノ郷、土佐久礼、江川崎	2019 年 4 月以降順次

## 取扱収入実績及び純収入実績の最近の動向について

平成 31 年 2 月

J R 四 国

## 1 取扱収入実績（2月速報値）

平成 30 年度取扱収入は、2 月 17 日現在で 32,340 百万円、対前年 94.6%（△1,850 百万円）となっている。

（単位：百万円）

	平成29年度		平成30年度			
	2月実績	累計	2月実績	前年比	累計	前年比
定期	112	4,207	111	98.8%	4,058	96.5%
定期外	1,541	29,983	1,447	94.0%	28,282	94.3%
合計	1,653	34,190	1,558	94.3%	32,340	94.6%

※2月17日現在の実績（速報値）

## 2 純収入実績（1月実績）

平成 30 年度鉄道運輸収入は、1 月末で 18,855 百万円、対前年 93.3%（△1,344 百万円）となっている。

（単位：百万円）

	平成29年度		平成30年度				計画値	計画比
	1月実績	累計	1月実績	前年比	累計	前年比		
定期	359	3,783	350	97.6%	3,678	97.2%	16,040	94.6%
自社完結	669	7,099	663	99.1%	6,535	92.1%		
四国発売・他社関連	364	4,075	362	99.5%	3,955	97.0%		
他社発売・四国関連	398	5,242	401	100.7%	4,687	89.4%		
合計	1,790	20,199	1,776	99.2%	18,855	93.3%	19,823	95.1%